

シリーズ2、庭木に利用する樹種の特徴と管理

—ヤマブキ—

日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村 正史

4～5月頃、新葉とともに黄色い花をたくさん咲かせる樹木があります。これは、古くから日本人に愛されてきた花木の一つであり、ヤマブキと言います(図1)。今回はこの花木を紹介します。

1. 特徴

バラ科ヤマブキ属の落葉低木です。この属にはヤマブキだけが含まれる一属一種です。北海道から九州まで分布しており、低い山の明るい林の木陰などに群生しています。枝は細くて柔らかく、背丈は1～2mで、株立ちするという特徴があります。明るい黄色の花を小枝の先端につけます(図2)。花びらは5枚で一重ですが(図3)、八重咲きの園芸品種、ヤエヤマブキもあります。これはヤマブキより少し遅れて咲きます。

2. 維持管理

樹形は自然にまとまっていきますので、むやみに枝を切る必要はありません。植えてからだいたい5年くらい経過すると古い枝の勢いは弱ってきますので、そのような枝は根元から10cmほど残して切り落とし、若い枝の生長を促します。その他は、混み合った部分の小枝や枯れた枝を刈り込む程度にして、全体をばっさり刈り込まないようにしましょう。翌春に咲く花芽は前年の夏に形成されますので、その後枝を切ると花芽を切り取ってしまうことになりますので、翌年には花が咲きません。注意してください。

この樹木は、自然の状態では木漏れ日が差すような場所で、湿度の比較的高い沢沿いなどに自生していることから、あまり日射しの強い場所は好みません。そのため、庭に植える場合は西日や直射日光の当たるような場所を避け、半日陰で、肥沃で、適度に湿っている場所に植えるようにしましょう。庭の土壌がやせているような場合には、土壌改良を行ってから植栽してください。寒さには強く霜に当たっても枯れることはありませんので、防寒対策をする必要はありません。

なお、ヤマブキによく似た花木にシロヤマブキがあります。この花木も庭木として利用され

ています。ヤマブキと異なる点は、花びらが4枚で純白であることと、ヤマブキ属ではなくシロヤマブキ属であることです。



図1 ヤマブキ (2013.4.12 に撮影)



図2 開花間近のヤマブキの蕾 (2012.4.19 に撮影)



図3 ヤマブキの花 (2011.4.26 に撮影)

※写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。